

質問票

回答票

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議		所属母体・役職等・氏名		担当課			
全体会		帝塚山大学・学長・蓮花一己		防災安全課			
施策No.	施策名	進行管理検証シートの項目		施策No.	施策名	進行管理検証シートの項目	
131④	自主防犯活動支援・促進	<input type="checkbox"/> 取組状況(H29年度) <input checked="" type="checkbox"/> 取組状況についての課題等 <input type="checkbox"/> 重要業績評価指標(KPI)の進捗状況 <input type="checkbox"/> 分野全体の進捗状況		131④	自主防犯活動支援・促進	<input type="checkbox"/> 取組状況(H29年度) <input checked="" type="checkbox"/> 取組状況についての課題等 <input type="checkbox"/> 重要業績評価指標(KPI)の進捗状況 <input type="checkbox"/> 分野全体の進捗状況	
質問の趣旨				回答内容			
指標の改善				<p>市が防犯カメラの設置を把握している自治会は7自治会であり、自治会総数（127自治会）に対する設置自治会の比率は5%である。</p> <p>また、防犯活動用品を貸出している団体については、自治会に限らず地域で行うために自主的に結成されているボランティア団体等も貸出の対象となり、その総数については把握をしていないため、比率の指標にすることはできない。</p>			
質問内容				<p>目標の指数としている刑法犯罪発生件数の減少につなげるために防犯パトロールや広報啓発活動等に取り組むソフト面の活動と、防犯設備機器の普及等のハード面の整備の両面の推進のために、犯罪の起きにくい地域環境づくりを目指す。</p>			
<p>131③「自主防災会の活動支援・促進」の指標が組織率という全体に対する割合であるのに比べ、本指標が設置数のように絶対数にとどまっている。やはり、自治会総数に対する設置自治会の比率のような指標にすべきと考えます。たとえ、現時点で比率が低くとも、今後の改善への工程が明示されます。</p>							

質問票

回答票

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議		所属母体・役職等・氏名		担当課		
全体会		いこま育児ネット 石川千明		防災安全課		
施策No.	施策名	進行管理検証シートの項目		施策No.	施策名	進行管理検証シートの項目
131②	乳幼児を持つ世帯のための防災知識の普及啓発事業と防災用品の備蓄	<input checked="" type="checkbox"/> 取組状況 (H29年度) <input checked="" type="checkbox"/> 取組状況についての課題等 <input type="checkbox"/> 重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況 <input type="checkbox"/> 分野全体の進捗状況		131②	乳幼児を持つ世帯のための防災知識の普及啓発事業と防災用品の備蓄	<input checked="" type="checkbox"/> 取組状況 (H29年度) <input checked="" type="checkbox"/> 取組状況についての課題等 <input type="checkbox"/> 重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況 <input type="checkbox"/> 分野全体の進捗状況
質問の趣旨				回答内容		
乳幼児を持つ世帯のための防災用品の備蓄について				<p>紙おむつについてはサイズがいくつかありますが、全体で約3,000枚程度の備蓄をしています。</p> <p>粉ミルクについては常時45缶備蓄しています。</p> <p>乳幼児用ベッド・室内用テントについては乳幼児の数に応じて備蓄しているわけではなく、指定避難所に対して同数ずつ設置しています。</p> <p>平成30年度における、子育て世代向けの防災イベントの開催については現時点で未定です。</p>		
質問内容						
<p>乳幼児向けの災害時の備品（おむつやミルク）の備蓄の予定はありますか？</p> <p>生駒市では災害時、物資の輸送が止まることが予想されます。最低限の備蓄が必要と考えますがいかがでしょうか。</p> <p>またベッドや室内用テントなどが市内の乳幼児世帯数に応じたものが配備されているのか知りたい。</p> <p>子育て世代が参加したいと思える防災イベントの開催の予定は？</p>						

質問票

回答票

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議		所属母体・役職等・氏名		担当課			
全体会		帝塚山大学・学長・蓮花一己		環境モデル都市推進課			
施策No.	施策名	進行管理検証シートの項目		施策No.	施策名	進行管理検証シートの項目	
132①	再生可能エネルギー（太陽光発電等）の導入	<input type="checkbox"/> 取組状況（H29年度） <input checked="" type="checkbox"/> 取組状況についての課題等 <input type="checkbox"/> 重要業績評価指標（KPI）の進捗状況 <input type="checkbox"/> 分野全体の進捗状況		132①	再生可能エネルギー（太陽光発電等）の導入	<input type="checkbox"/> 取組状況（H29年度） <input checked="" type="checkbox"/> 取組状況についての課題等 <input type="checkbox"/> 重要業績評価指標（KPI）の進捗状況 <input type="checkbox"/> 分野全体の進捗状況	
質問の趣旨				回答内容			
指標の妥当性				本市の日射量は3.83kWh/m <sup>2</sup> であり、国内の日射量としては平均的と言えます。また、平均日照時間は、年間1,822時間であり、総務省統計局発表の気象官署別日照時間の平均値1,832時間と比べても平均的な値です。 よって、太陽光発電設備の導入に関して、地形的理由によって他地域よりも不利な状況にはなく、住宅都市として最もポテンシャルのある電源だと考えております。市域の太陽光発電導入数については、固定価格買取制度の単価引下げの影響を大きく受け、目標値の達成は困難な状況ですが、本市が継続的に実施している住宅等の太陽光発電設置者への補助金交付については、毎年100件以上のペースで着実に増加しているところであり、昨年7月に設立した地域新電力会社「いこま市民パワー(株)」の事業とも連動しながら、引き続き積極的な普及啓発を進めていきたいと考えております。 今後の再生可能エネルギー普及に係る指標の設定については、現在策定中の第3次環境基本計画において、現状と施策の方向性を踏まえ、項目、目標水準等のあり方を精査してまいります。			
質問内容							
再生可能エネルギー（太陽光発電等）の導入であるが、日本の他の地域と比べて、都市部に近く、丘陵地の多い生駒市での太陽光発電システム設置の可能性がどの程度見込まれるのかに疑問があります。KPIでの設置数も横ばいであり、今後の展望があるのでしょうか。							

質問票

回答票

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議		所属母体・役職等・氏名		担当課			
全体会		帝塚山大学・学長・蓮花一己		農林課			
施策No.	施策名	進行管理検証シートの項目		施策No.	施策名	進行管理検証シートの項目	
243②	農産品の加工・特産品の開発支援	<input type="checkbox"/> 取組状況(H29年度) <input type="checkbox"/> 取組状況についての課題等 <input checked="" type="checkbox"/> 重要業績評価指標(KPI)の進捗状況 <input type="checkbox"/> 分野全体の進捗状況		243②	農産品の加工・特産品の開発支援	<input type="checkbox"/> 取組状況(H29年度) <input type="checkbox"/> 取組状況についての課題等 <input checked="" type="checkbox"/> 重要業績評価指標(KPI)の進捗状況 <input type="checkbox"/> 分野全体の進捗状況	
質問の趣旨				回答内容			
KPIで改善の兆しがない理由				農家数765戸のうち、自給的農家は491戸、販売農家は274戸（専業農家76戸、兼業農家198戸）であり（2015農林業センサス）、生駒市内では特産品という農作物はないものの、主な農産物としては、水稲が約5割を占め、その他では玉ねぎやきゅうり、はくさい、大根などである。  KPIについて、施策内容と合致した「農産品の加工や特産品の開発」への直接的な支援は行っていないが、以下のような支援を実施。			
質問内容				【農産品の加工】 ①地元飲食店が農産物の生産から加工、そして販売まで行うため、農業委員会において農地を斡旋し、地産地消の取組を実施。（平成28年度） ②6次産業化の取組を積極的に進める意欲のある農業者に対して、農業委員会において農地の斡旋をするとともに、生駒市初となる農林水産省の6次産業化認定者となり、加工品をアンテナショップ「おちやせん」への出品できるよう支援を行った。（平成29年度） ③農・福連携として、平成28年度に女性の新規就農希望者及び社会福祉法人の新規参入希望者に対して、農業委員会において農地を斡旋し、女性新規就農者については翌年から学校給食センターに出荷し、社会福祉法人については生産～加工～販売を行っている。 また、当該女性新規就農者は平成28年度から、当該社会福祉法人は今年度から「生駒市農業ビジョン推進懇話会」に参加いただくことになり、2者をマッチングする機会を提供することができた。 さらに、平成29年度の「農業祭」においては、上記2者による農・福連携ブースを新たに設け、販売する機会を提供することができた。			
そもそも生駒市の専業農家がどの程度存在し、その生産品に何らかの特産といえる農産物がどの程度あるかを教えてください。まったくKPIに変化が見られないのは、専業農家の少なさに原因があるのではないのでしょうか。							